

		自己評価		学校関係者評価	
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画		評価	
1 進路指導の充実 〔進学課〕 〔就職課〕	I) 望ましい進路観・勤労観の育成を図るとともに、明確な進路目標を設定させる。 II) 進路指導に必要な情報を迅速に収集し、計画的・組織的な進路指導を行う。 III) 個々の生徒に適した進路を開拓するとともに、自己実現を目指すキャリア教育を推進する。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	次年度への課題と今後の改善方策
		活動計画	活動計画の実施状況		(所見)
2 学習指導の改善 〔教務課〕 〔情報課〕	I) 教職員の指導スキルの向上に努め、「主体的・対話的で深い学び」の推進を図る。 II) 生徒の学習意欲を喚起する指導方法・指導体制の工夫・改善を図る。 III) 徳島県GIGAスクール構想により整備された生徒1人1台端末を積極的に活用し、多様な生徒に個別最適化された学びの実現を目指す。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	次年度への課題と今後の改善方策
		活動計画	活動計画の実施状況		(所見)

3 生徒指導の充実 〔生徒指導課〕 〔教育相談課〕	<p>I) 生徒一人一人との関わりを大切に丁寧な指導を通して、教師と生徒の信頼ある関係を構築する。</p> <p>II) 家庭、中学校、関係諸機関との連携を密にすることで、問題行動を未然に防止する。</p> <p>III) 教育相談活動を充実させることで、いじめの未然防止・早期発見に努める。</p>	評価指標 I) ・校則や決まりを守っていると思う生徒の割合90%以上。 ・校則違反等の特別指導対象生徒5名以下。 ・自転車事故10件以下。	評価指標の達成度 I)	総合評価 (評定) (所見)	次年度への課題と今後の改善方策
		活動計画 I) ・生徒指導に関する共通理解を図る。 ・運転免許取得事前講習会5回・自転車マナー啓発運動等を実施する。 ・合格者説明会や入学式において、保護者に生活指導についての理解と協力を依頼する。 II) ・毎月0のつく日に駐輪指導を実施する。学期に2回、立哨指導を行う。 ・集会や立哨指導で交通安全の啓発、指導を行う。 ・交通安全やSNS、公共マナー向上、命の大切さ等に関する講演会を行う。 III) ・スクールカウンセラーや関係機関と連携し、不登校傾向のある生徒や特別な支援を必要とする生徒に対し、適切な支援を行う。 ・教職員対象にチェックリストを年2回実施し、支援の必要な生徒の把握に努める。 ・教職員対象の研修を実施する。	活動計画の実施状況 I)		学校関係者の意見
4 特別活動の充実 〔特別活動課〕	<p>I) 部活動や生徒会活動を充実・活性化させ、生徒の豊かな人間性の育成を図る。</p> <p>II) ボランティア活動の推進に努め、豊かな心と地域に貢献できる生徒の育成を図る。</p>	評価指標 I) ・部活動および学校行事に関する学校評価アンケートの充実度80%以上を目指す。 ・運動部・文化部に対して壮行会を100%の割合で実施する。 ・全ての部活動において、取組を学校ホームページで広報する。 II) ・各種セミナーやボランティア学特講などの体験活動に関する学校評価アンケートの充実度80%以上を目指す。	評価指標の達成度 I)	総合評価 (評定) (所見)	次年度への課題と今後の改善方策
		活動計画 I) ・ホームページなどを活用し、部活動や生徒会活動に関する情報の発信を積極的に行う。 ・Zoomなどを効果的に活用して壮行会の充実を図る。 II) ・セミナーや体験活動の案内を積極的に行い、振り返りのレポートをもとに行事の計画・運営の改善を図る。	活動計画の実施状況 I)		学校関係者の意見

5 人権教育の推進 〔人権教育課〕	I) 全ての人の人権を尊重し、多様性を認め、ともに支え合う仲間づくりを推進する。 II) さまざまな人権問題の解決に向けて、主体的に行動できる実践力を培う。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)	次年度への課題と今後の改善方策
		活動計画	活動計画の実施状況		
		I) この2年間はコロナ禍で中止となっていた板野支援学校との交流会の再開、自主活動の育成・活性化を進め、学校や地域での交流活動、ボランティア活動を推進する。 II) 人権学習HR活動を、各年次年間5回実施する。また、教職員人権研修を年間2回は開催する。	I) II)		
		I) 板野支援学校との交流会や、ヒューマンネットワーク部の活動を通じて、人権が尊重され、温かい人間関係に包まれたホームルームづくり、学校全体の雰囲気づくりに務める。 II) 主体的に行動できる生徒を育てるHR活動を実践する、また、人権教育を教育活動の重要な柱とするために、指導内容や教育方法の研究・改善を行うための研修の充実を図る。	I) II)		学校関係者の意見
6 環境教育・保健衛生対策の推進 〔環境教育課〕 〔保健厚生課〕	I) 校舎内外の環境美化活動を推進し、道徳心や公共心の育成を図る。 II) 学校における保健衛生環境を整えるとともに、生徒および教職員の健康管理を徹底する。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) (所見)	次年度への課題と今後の改善方策
		活動計画	活動計画の実施状況		
		I) ・自分のロッカーや机の周りの整理整頓ができていると思う生徒が85%以上。 ・ゴミが落ちていると進んで拾うという生徒が85%以上。 ・校外の清掃活動を通して、地域貢献をした生徒100%。 II) ・新型コロナウイルスの感染防止対策として毎朝の健康観察票の提出を100%とする。 ・クラスター防止の観点から、教室や集会等での「3密」の回避をはかる。 ・手洗いと手指消毒、教室の換気など衛生指導を徹底する。	I) II)		
		I) ・環境委員会を中心にクラスに呼びかけ、全員で取り組むようにする。 ・1年次生の校外活動の1つとして、清掃ボランティア活動を実施する。 II) ・家庭での体温測定と、朝のSHRでの健康観察票への記入・回収を習慣化する。 ・集会等は、オンライン会議システムを利用し、生徒が1か所で密にならないように工夫する。 ・教室・校舎出入口・トイレ等に手指消毒液を設置するとともに、清掃時および放課後を利用して教室や共用施設の消毒を行う。常時教室の窓およびドアは開放し、換気を徹底する。	I) II)		学校関係者の意見

7 読書活動の推進 〔図書課〕	I) 教科における学習活動と連携した読書活動の推進を図る。 II) 読書習慣を定着させ、生涯にわたって豊かな人生を送るための資質を形成する。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	次年度への課題と今後の改善方策
		活動計画	活動計画の実施状況		
8 開かれ信頼される学校づくりの推進 〔企画推進課〕 〔総務課〕 〔進学課〕	I) 地域人材などの地域の教育力を活用し、地域と一体となって生徒を育成する。 II) P T A ・同窓会との連携を図り、ホームページ等の情報発信や教育活動の公開を積極的に推進する。 III) 大学院生・学部生との関わり等を通して、鳴門教育大学との連携を進める。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	次年度への課題と今後の改善方策
		活動計画	活動計画の実施状況		

評価指標

I) ・教育活動の一環として図書館を活用するよう、1年次を対象としたオリエンテーションを年に1回以上実施する。
・読書感想文の課題本を決める活動を、1・2年次を対象として年に1回以上実施する。
II) ・ビブリオバトルやHR読書会を、年に1回以上実施する。
・図書の貸出冊数の目標を、年間2000冊以上とする。

評価指標の達成度

I)
II)

活動計画

I) ・教育活動の一環として図書館を活用するよう、図書委員による新刊紹介や、放送部と協力した読み聞かせ会等を実施して、生徒に働きかける。
II) ・図書委員会を指導し、毎月1回発行する「図書館便り」の内容の一層の充実を図る。各月毎のHR貸出数を明記する。

活動計画の実施状況

I)
II)

総合評価

(評定)

(所見)

次年度への課題と今後の改善方策

学校関係者の意見

評価指標

I) ・地域の人々や鳴門市役所、鳴門教育大学と連携し、1・2年次を対象とした講座等を年に3回以上、また学校運営協議会を年3回実施する。
II) ・P T A 総会は、新型コロナウイルス感染症対策のため書面開催での実施とし、保護者からの返信(書面決議書)を80%以上とする。
III) ・鳴門教育大学院生によるT T 授業や、放課後の「M i r a i サポート」(個別補習)を週2回実施し、学習支援を充実させる。
・鳴門教育大学院生のフィールドワークを年間2回(1回15日以上)受け入れ、進学や教職を目指す生徒の意識づけを図る。
・鳴門教育大学の施設・設備の利用や院生・学部生との相互交流等により、各種部活動の競技力向上を目指すとともに、生徒の部活動への意識高揚を図る。

評価指標の達成度

I)
II)
III)

活動計画

I) ・1年次を対象に地域のボランティアガイドによるフィールドワークを実施、1・2年次を対象に鳴門市役所や鳴門教育大による出前講座や講演を実施する。また、学校運営協議会を通して生徒の育成や学校の活性化に向けて協議する。
II) ・P T A 総会の書面開催は、生徒を通じて書類を家庭に持ち帰らせ、書面決議書を回収する。
・鳴門会(年に1回)・東京鳴門会(2年に1回)を実施する。
III) ・鳴門教育大学院生によるT T 授業や、放課後週1回の個別補習「M i r a i サポート」を3教科(英語・数学・国語)で実施し、学習支援をする。
・鳴門教育大学院生の担当ホームルームで進路に関する体験談の時間を設ける。
・テニス部、ラグビー部、ハンドボール部等において、鳴門教育大学の施設を利用し、合同練習を行う。

活動計画の実施状況

I)
II)
III)

総合評価

(評定)

次年度への課題と今後の改善方策

学校関係者の意見

<p>9 消費者教育・主権者教育・防災教育の推進</p> <p>〔各担当〕</p>	<p>I) 身近な消費生活やエンカル消費について学ぶ機会を充実させ、自立した消費者の育成に努める。</p> <p>II) 主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力を育成する。</p> <p>III) 地域と連携した安全・防災教育の推進に努め、災害時における実践力の育成を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>I) ・消費者問題について理解が深まった生徒の割合80%以上。 ・エンカル消費について理解できたと思う生徒の割合80%以上。</p> <p>II) ・政治や経済に関心を持った生徒80%以上。 ・主権者として積極的に社会と関わりたいと思う生徒80%以上。</p> <p>III) ・地域の一員としての防災意識の高揚を図る。 ・生徒の防災士資格試験受験者の合格率100%。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>I)</p> <p>II)</p> <p>III)</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p>	<p>次年度への課題と今後の改善方策</p>	
		<p>活動計画</p> <p>I) ・成年年齢引き下げによる、消費者トラブルを防ぐため消費者教育講演会を実施する。 ・家庭科の授業を通して、具体的な消費者トラブル事例からトラブル防止に役立つ知識を学び、知識を活用してトラブルを解決することができるよう学習する。 ・家庭クラブの活動を通してエンカル消費について学び、身近なことから実践する力を養う。</p> <p>II) ・地域との関わりのなかで、時事問題や現代社会における諸課題について、他者と協働して考え、得られた成果や課題を発表したり討論する授業を実践する。</p> <p>III) ・防災避難訓練を鳴門市と連携し実施する。 ・防災士資格取得講座を年3回実施する。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>I)</p> <p>II)</p> <p>III)</p>	<p>(所見)</p>	<p>学校関係者の意見</p>	

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった